



「無期懲役と宗教二世」

黒田 哲

「無期懲役」…安部元首相銃撃事件の判決が下りた。日本の現首相を公衆の面前、それも選挙のための演説中に銃撃し、死に至らせるという、銃を持ち歩くアメリカならいざ知らず、今の日本では考えられない犯行に対する裁判の判決である。悲しい結末ではあるが、その事件性、社会性からすればやむを得ないと言えるのかもしれない。

しかし、この犯行がいわゆる「宗教二世」であるが故に起こったということは信仰生活を大切にするクリスチヤンにも大きな課題を突き付ける。当の「旧統一教会」には、昨年3月に解散命令が出されたが、二世救済などはまだ手付かずだろう。しかし、「宗教二世」と言うことは、私達クリスチヤンが大切にしている「次世代に信仰を継承する」ことの現実を反省する良い機会、又、良い材料としたい。

クリスチヤンとして考えて見よう。あなたが二世であるなら一世である親から何を引き継ぎ、あなたが一世であるなら二世としての子供に何を与えたか。現在、あなたがクリスチヤンであるという信仰は二世である子供たちに引き継がれているか、その結果、二世である子供たちは幸せを楽しみ、喜んでいるか。

聖書は語ります。箴言 1:8,9

わが子よ、父の訓戒に聞き従え。母の教えを捨ててはならない。
それらは、あなたの頭に戴く麗しい花の冠、首にかける飾りだから。

父の訓戒、母の教えとは何か。申命記 6:4,5

あなたは心を尽くし、いのちを尽くし、力を尽くして、あなたの神、【主】を愛しなさい。

何故、そのように神を信じ、愛する人生を生きるのか。 I ヨハネ 4:10

私たちが神を愛したのではなく、神が私たちを愛し、私たちの罪のために、宥めのささげ物としての御子を遣わされました。ここに愛があるのです。

親が聖書を信じて生きる時、二世たちは愛され、喜びの世代となる。クリスチヤンホームでは二世こそハッピー世代となる…これが聖書のメッセージである。